

## 健康寿命の最新値（令和元年）に係る知事コメント

本日、厚生労働省が所管する健康日本21（第二次）推進専門委員会の資料において、令和元年の都道府県別の健康寿命が示され、本県は、前回の平成28年に比べ、男性が1.40年伸び、72.61年で全国26位、女性が1.47年伸び、76.00年で15位となり、男女ともに前回を上回る結果となりました。

本県は、高齢化率が全国で最も高いことから、すべての県民が生きがいを持って安心して暮らせる健康長寿社会の実現を目指しており、健康寿命延伸の重要性が増しております。

このため、県では平成29年度に民間、医療、大学、行政等が参画する「秋田県健康づくり県民運動推進協議会」を立ち上げ、「健康秋田いきいきアクションプラン」を策定し、健康寿命の延伸に繋がる取組を県民運動として行ってまいりました。

今回の結果に関しては、県民、関係機関の取組の成果が表れたものと感謝申し上げるとともに、その成果が健康指標に安定的に表れるには、切れ目のない取組が必要であり、今回の結果に一喜一憂することなく、一層の取組をオール秋田で推進し、健康長寿秋田の実現を目指してまいります。

県民の皆様には、生活習慣の改善を共に考え、健康づくりに取り組んでくださるようお願いいたします。

令和3年12月20日

秋田県知事 佐竹 敬久